

# アイヌ語教材テキスト入門編 補助教材ハンドブック

この冊子は平成22年度アイヌ語教材製作事業で作成したアイヌ語教材テキスト《入門編》補助教材について、その使い方を紹介するものです。

この補助教材を使いながら、また補助教材を使った遊び方を独自に工夫しながら、楽しくアイヌ語にふれてみてください。

## ◎はじめにお確かめください

～アイヌ語教材テキスト《入門編》補助教材一覧～

- ①数字カード 5枚（1～20までの数字を印刷）
- ②アイヌ語すごろく 1枚（四つ折り）
- ③すごろくのコマとサイコロ 1枚
- ④アイヌ語かるた【名詞編】絵札14枚、読札7枚
- ⑤アイヌ語かるた【動詞編】絵札14枚、読札7枚



## ① 数字カードで遊ぼう

### 【準備する】

- ビニール袋の中から、数字カード（5枚1組）を取り出します。
- 帯を外します。
- 1枚の紙には、4つの数字カードが印刷されています。ミシン目に沿って、カードを切りとります。
- 1～20の数字が書かれた20枚のカードができました。
- カードを使わないときは、なくさないように、輪ゴムやクリップを使って束ねておきましょう。

### 【使い方 その1】

- 二人がそれぞれに20枚のカードを持って向かい合います。
- カードは、相手に数字が見えないように、裏向きにして持ちます。
- 「せーの」などとかけ声をかけて、お互いにカードの表を向けて1枚出します。
- 数字の大きいカードを出した方が、自分のカードの数字をアイヌ語で言います。上手に言えたら、相手の出したカードをもらうことができます。もらったカードは、自分のカードの中に加えます。
- 数字の大きいカードを出した方が上手にアイヌ語を言えないときは、小さいカードを出した方が、自分のカードの数字をアイヌ語で言います。上手に言えたら、相手の出したカードをもらいます。
- これを10回繰り返して、カードの枚数が多いほうが勝ちです。

（もうひと工夫）

☆アイヌ語では、「6」を表す言葉を「たくさん」という特別な意味にも使います。そこで、数字カードの「6」をトランプのジョーカーのような最強カードに見立てて、「6」を出すと相手の出した数字に関係なく自動的に5枚もらえる、などの特別ルールを作りましょう。

## 【使い方 その2】

- 4～5人で自分のカードを持ち寄って集まります。カードをまとめてよく混ぜてから、裏向きにして真ん中に置きます。
- 一人ずつ順番に、1枚ずつカードをめくっては、表を向けて積んでいきます。前のカードと同じ数字が出たら全員ですばやく手を伸ばして、カードを叩きます。
- カードを叩くのが一番遅かった人は、カードの数字をアイヌ語で言います。上手に言えないときは、真ん中に積まれたカードを全部もらわなければいけません。上手に言えたら、カードは二番目に遅かった人がもらいます。
- 裏向きにしたカードを全部めくり終わったときに、持っているカードの枚数が一番少ない人が勝ちです。

(もうひと工夫)

☆この遊び方は、トランプの「ブタのしっぽ」をもとにしています。同じように、4人が集まって1～13までのカードの裏にそれぞれ♥♠♦♣を書いてから4組み合わせると、トランプとして遊ぶことができます。ジョーカーには、カードの「20」などを使いましょう。

「7ならべ」でカードを出す時に数字をアイヌ語で言う、「ババ抜き」で数字の合った2枚のカードを合計してアイヌ語で言うなど、数字カードのいろいろな使い方を工夫してみてください。

### 【ところで、1～20はアイヌ語でどう言う？】

- 『アイヌ語教材テキスト 入門編』15頁を参照してください。

## ② アイヌ語すごろくで遊ぼう

### 【準備する】

- ビニール袋の中から、「すごろくのサイコロとコマ」と書かれた1枚の紙を取り出します。
- ミシン目に沿って、4つのコマと、1個のサイコロを切りとります。
- コマとサイコロは、のりしろ部分を折り曲げてのり付けします。
- 四つ折りのすごろくを広げて、コマを「ふりだし」に置きます。
- 使わないときは、すごろくが破れたりコマやサイコロがつぶれないように注意してください。

### 【マス目の説明】

マス目の中に出てくるアイヌ語の意味は、次のページの下にあります。

#### (1) 好きな動物をアイヌ語で言おう

「山に住む動物」や「虫の名前」をアイヌ語で言いましょう。

上手に言えたら、3つ進みます。

#### (2) どんな動作か、自分の体で表現しよう

アイヌ語で書かれた動作を、その場でやってみましょう。

例：イルシカ ⇒ぶんぶん怒ったまねをする

上手にできたら、3つ進みます。

#### (3) 鳴き声のまねをしよう

アイヌ語の意味を考えて、まねをしましょう。

例：パシクルレクハウエ ⇒カラスの鳴き声をまねる

上手に言えたら、3つ進みます。

#### (4) ミッションを実行しよう

ミッションとは、英語で「指令、命令」という意味です。

アイヌ語の意味を考えて、そのとおりに実行しましょう。

例：キサラを引っ張る ⇒自分の耳たぶをギュッと引っ張る

上手にできたら、3つ進みます。



### ③ アイヌ語かるたを使って遊ぼう

#### 【準備する】

- ビニール袋の中から、アイヌ語かるた2種類（どちらも絵札14枚、読札7枚）を取り出します。
- 1種類目はものの名前などを集めた「名詞編」で、「ア」にアットウシの絵が描かれています。もう1種類は動作や状態を表す言葉を集めた「動詞編」で、「ア」にはアプカシと書かれています。
- それぞれの帯を外します。
- 絵札は1枚の紙に4枚、読札は1枚の紙に8枚印刷されています。ミシン目に沿って、絵札と読札を切りとります。
- 55枚1組の「名詞編」、53枚1組の「動詞編」のかるたができました。絵の描いてない白い札は、予備に使ってください。
- かるたを使わないときは、なくさないように、輪ゴムなどを使って束ねておきましょう。

#### 【遊び方 その1】

- 読み手が読札に書かれたアイヌ語を読んで、それに合う絵札を何人かで取り合います。
- この遊び方の場合、アイヌ語を知らない人でも、絵札に書かれたカタカナの文字を見て、絵札をとることができます。

（もうひと工夫）

- ☆「絵札を取った人は、札に描かれた絵とアイヌ語を見て、アイヌ語の意味を大きな声で言うこと」というルールを付け加えれば、さらにアイヌ語の力がつきます。

## 【遊び方 その2】

- 読み手が読札に書かれた日本語を読みます。
- 絵札を取る人は、日本語を聞いてから、それに合うアイヌ語の絵札を取ります。
- この遊び方の場合は、絵札のアイヌ語の意味を知らないと札が取れないので、【遊び方 その1】に比べて少し難しくなります。

(もうひと工夫)

☆「絵札を取った人は、発音やアクセントに気をつけながら絵札に描かれたアイヌ語を大きな声で言うこと」というルールを加えて、アイヌ語を声に出して言う練習をすれば、さらにアイヌ語の力がつきます。

### 【かるたに使用したアイヌ語について】

- アイヌ語には、地域・地方によってさまざまな方言があります。  
今回作成したかるたは、【名詞編】【動詞編】とも、主に静内地方の言葉を中心に使っています。
- アイヌ語の中には、同じ発音の単語でもいくつかの意味を持つものがあります。  
今回は、かるたという性格上、その中からひとつだけを紹介しています。  
例：ヌブル かるたでは「お茶やつゆが濃い」としましたが、他に「霊力が強い」などの意味があります。  
トゥイ かるたでは「(木の実が枝から下に)落ちる」としましたが、他に「切れる」などの意味があります。
- かるたに適した単語がないため、次の音ではじまるものは作成しませんでした。  
【名詞編】【動詞編】のイエ、【動詞編】のヒ

当財団では、アイヌ語教材について、より親しみやすいもの、より楽しめるもの、そしてより効果的なものの作成を目指しています。

皆さまの御意見、御感想をお寄せ下さい。

アイヌ語かるた【名詞編】【動詞編】  
絵札原画製作協力者 小笠原 小夜

## 平成22年度アイヌ語教材製作事業 アイヌ語教材テキスト入門編補助教材ハンドブック

発行年月日 平成23年3月30日  
編集・発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構  
〒060-0001  
北海道札幌市中央区北1条西7丁目  
プレスト1・7ビル  
電話：011-271-4171  
ファクシミリ：011-271-4181